

「JENESYS2020」第2回日中大学生オンライン交流の記録

1. オンライン交流概要

【目的】

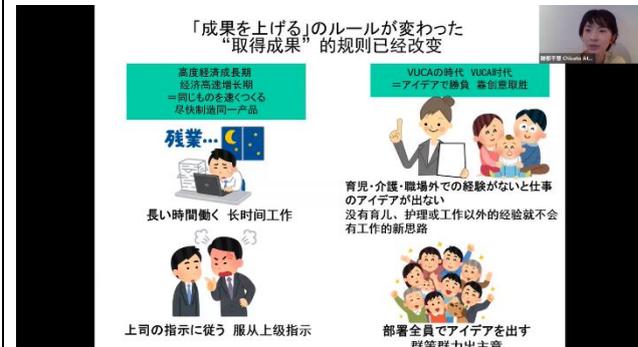
本プログラムでは、短時間でも深い交流ができるよう、テーマを「私の理想の働き方」とし、日本と中国の大学生がグループディスカッションを行いました。働き方改革は日中共通の課題であり、近年、日本では「ゆるい就職」、中国では「寝そべり族（躺平）」など、若者の働き方を含む人生観が多様化しています。日中の大学生が仕事を選ぶ上で重視する項目を話し合うことで、互いの価値観や人生観を明らかにし、相互理解と友好促進を深めることを目的として本交流を実施しました。

【参加者】中国（四川省、重慶市）の大学生 20 名、日本の大学生 19 名

【日程】

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応（参加者の人数 実績）
1 回目 2021 年 10 月 21 日 東京都	<p>【接続確認・オリエンテーション】</p> <p>① 事業趣旨の説明</p> <p>② 10/28 の交流日程、事前・事後作業の説明</p> <p>③ グループに分かれての自己紹介</p>	<p>短時間ながら、自己紹介をして打ち解けあっていました。</p> <p>（参加者：中国の大学生 20 名、日本の大学生 19 名）</p>
2 回目 2021 年 10 月 28 日 東京都	<p>【テーマについての意見交換】</p> <p>テーマ：「私の理想の働き方」</p> <p>① 開会、参加者紹介</p> <p>② インスピレーショントーク 「10 年後の働き方を考えよう」 講師：跡部 千慧 立教大学 コミュニティ 福祉学部コミュニティ政策学科 助教</p> <p>③ グループディスカッション 5 つのグループに分かれ、各自が仕事を選ぶ上で最も重視する 5 つのキーワードと選んだ理由を紹介し、グループ内で出た意見の傾向や特徴を分析。</p> <p>④ 交流内容発表 各グループの代表者が、グループディスカッションで出た意見とその分析を発表。</p> <p>⑤ 講師による講評 講師：跡部 千慧 立教大学 コミュニティ 福祉学部コミュニティ政策学科 助教</p>	<p>交流内容発表では、「国や社会に貢献するため、仕事を通して社会課題に挑戦したいというのが両国学生の一致した思いだった」</p> <p>「仕事は高いモチベーションが持てるものであるべきと考える人もいれば、逆に、仕事はあくまで人生をより良くするための手段と考える人もいた。そこから仕事以外の価値感や日中の共通点などについて話し合った」「ジェンダー問題が職業選択に影響している。この課題に対し、私たちは各々の性別・立場から挑戦しよう」と話し合った」などの報告がありました。講師からは、「交流を経て考えが変わったか、改めて 10 年後の自分の姿を考えてほしい」と参加学生に呼びかけがありました。（参加者：中国の大学生</p>

2. 記録写真

	
<p>2021年10月28日【テーマについての意見交換】</p>	<p>2021年10月28日【テーマについての意見交換】 講師によるインスピレーショントーク</p>
	
<p>2021年10月28日【テーマについての意見交換】 グループディスカッション</p>	<p>2021年10月28日【テーマについての意見交換】 グループディスカッション</p>

3. 中国大学生の感想（抜粋）

◆ 成都大学 学生

中国と日本の学年や専攻が異なる大学生たちとの交流を通じて、国や分野によって、就職に対する考え方は全く違うことがわかりました。しかし、より良い自己実現を目指したい、社会のために少しでも多くの価値を創造したい、という情熱や追求心は同じです。交流会では、働き方だけでなく、ジェンダー問題、採用プロセス、さらには個々の専門分野についても深く議論され、70分の中で話せば話すほど、「もっと知りたい」という気持ちが強くなっていきました。今後もぜひこのような機会をいただきたい、もっと充実した交流をしたいと切に願っています。

◆ 成都大学 学生

このオンライン交流を通じて、中国と日本の若者の交流が深まりました。それだけではなく、心が豊かでしっかりとした考えのある方々と出会い、良い日本の友人ができたことは、私にとって思いがけない収穫でした。

◆ **成都大学 学生**

今回の交流会で、中国と日本の大学生の就職に対する考え方の違いや共通点をより深く知ることができました。私たちは皆、明るい未来に希望を抱きつつも、同時に様々な社会環境による様々なプレッシャーに直面しているので、そのような共通点から一緒に会話がしやすく、気持ちを共有することができました。

◆ **成都大学 学生**

最大の収穫は、たくさんの良い友人に出会えたことです。また交流を通じて、職業の選択は、やはり各自の専攻や自分自身への理解とも関係していると少しずつ分かってきました。例えば、日本の大学生が専攻を決めるのは3年生になってからですが、中国の大学生は大学入学前に専攻を選択します。ですから、日本の大学生はより多くの時間をかけて自分自身の強み、弱み、自分の好きなことを理解し、そのうえで専攻を決めることができます。一方、中国の大学生は、自分の専攻や将来の就職について考える時間が少ないため、その専攻内容が自分が当初思っていたものとは大きく異なることがわかった場合でも、我慢して勉強を続けるしかありません。たとえ専攻を変更する機会があったとしても、優秀な成績が必要となります。この交流会は大変よかったですと思います。

◆ **重慶交通大学 学生**

この交流に参加できたことを光栄に思います。両国の大学生との交流を通じて、就職観の違いは、実は個人の性格と大きく関係していることがわかりました。これにより、自分自身の視野を広め、見識を深めることができました。一方で、キーワードマトリクス図の分析では、自分の内面にある本当の考えに気づくこともできたので、今回の交流会はとても有意義で、参加できたことを光栄に思います。

◆ **重慶医科大学 学生**

違う国の考え方や問題点を知ることは、私にとって新しい体験でした。中国の古い言葉に「書物より得られた知識は浅いもの、物事は実践を経て会得する」というものがあります。私にとって、このイベントで初めて他の国の人たちとの対面交流になり、良いスタートを切ることができました。

4. **日本大学生の感想（抜粋）**

◆ **国際基督教大学 学生**

キャリアに関して他の参加者がどのような考えや理想を抱いているのかを知ることも良い学びではあったが、それよりも、交流自体が印象に残った。コロナ禍で新しい交友関係を作るのが大変難しい中、知り合ったばかりの仲間と話に花を咲かせるのが純粋に楽しかった。個人レベルではこうやって仲良くなれるのに、なぜ国同士となるとそうもいかないのかが不思議でならない、と改めて思った。

◆ 国際基督教大学 学生

まず、今回のような機会をご用意してくださり、ありがとうございます。国際交流の活動をする中で、中国の学生さんとお話をする機会はあまりないので、とても貴重な体験になりました。私は政治に関心があり、日々対中外交や中国経済のニュースに触れているため、中国の学生さんは自分と全く異なる生活をし、考えを持っているものだと思っていました。しかし、対話をする中で、異なる点よりも似ているところの方が多いことに気がつきました。例えば、私のグループ内で「能力の高い人と働くこと」を選択した人がたくさんいました。専攻も経験も違う中で、働くことに関して似たような価値を見出している人がいるのだと感じました。

ディスカッションは楽しめましたが、少し大変だと感じたこともありました。それは、私たちの発言はどれも日本を、中国を代表したものではないことです。コロナ禍で日本人の働き方はどのように変わったのか質問された時には、少し戸惑いがありました。なぜなら、私の親の働き方は、その職業柄からあまり変わらなかったからです。「日本人」という質問に答えようと、見聞きする「偏見」のような答えしかできませんでした。交流後に気がついた反省点ですが、お互いに、国を代表しているのではないと認識できたら良かったと思います。

◆ 横浜市立大学 学生

今回の交流会で、テーマであった「理想の働き方」について、国を超えた意見というよりも、仕事に対する多種多様な意見や考えを知る機会となった。

中国の大学生との交流会ということで、文化の違いによる意見が出来ることを期待したが、私のグループでは全体的に「生活のために仕事をする」というスタンスを望む人が多かった。経済的不安の重さや子供に対する親の重圧など国が違うことによる異なった状況や経験に関する話も上がったが、中国側も日本側も大学に行くことのできる家庭環境にいるという点で、仕事を私生活の幸せの為や自身の成長の為にやりたいという考えや価値観は似通っていたと感じる。

また、テーマ関係の気づきで言うと、グループ内での日本人の立ち回り方に関しては、あくまで自分の意見を相手に分かってもらうための言い方を重要視した話をしていたのに対して、中国人は自分の言いたいことをストレートに自分の言葉で言うという特徴があったように感じる。しかし、日本人が気を使いがちな人種だからというわけでは決してなく、日本のコミュニティでは、マジョリティでない受け入れられづらい意見は多くの場合排除されることが原因なのだと思う。

◆ 立教大学 学生

今回のオンライン交流では日本と中国の学生のキャリアに対する考え方の違いに非常に驚きました。一般的に、私も含めた日本の文系の大学生は大学で学んだ内容を仕事に直結させようという考え方はあまりありません。しかし、中国の大学生たちは大学で学んだ内容を仕事につなげようという明確な意思を感じました。ただ、「誰かのために・社会のために」仕事をしたいという価値観は日本・中国の大学生に共通していました。この先、日中関係がどうなるかは私には分かりませんが、このような共通の価値観を持っている私たちは、いつかどこかで「誰かのために・社会のために」一緒に仕事をしていたりするのかなと思いました。

◆ 横浜市立大学 学生

現在のコロナ禍において、ほとんど大学や海外の友人を作る機会がなかったため、今回のイベントは非常に貴重な機会となりました。専攻や学部は多様であり、仕事・将来設計・価値観など異なる考え方が多いと感じました。だからこそ、互いの差異に気付き意見を比べることで、自分が持つ「働くこと」への意識を自覚することができたと思います。多様性を認め合う雰囲気がグループのなかで共有され、オンラインであっても良い空気感の元、話し合いを進められました。また英語力向上の必要性を身に染みて感じました。中国の学生は勿論、日本の他の学生も英語が堪能な方が多く、考えをスムーズに伝え理解し合うためには、ツールとしての言語力が不可欠であると思いました。英語力向上のためのモチベーションが上がりました。

イベントから約1週間が経ちますが、現在も WeChat などを通して、中国・日本の学生と連絡を取り合っています。本イベントをきっかけに今後も連絡を取り続け、関係性を作っていきたいと思います。貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。

5. 参加者の対外発信、報道記事等

<p>中日友谊，青年共叙 ——中日大学生线上交流会成功举办</p> <p>2021年10月28日下午，中国人民对外友好协会与日本日中友好会馆主办、四川省对外友协和重庆市对外友协共同承办的中日大学生线上交流会成功举办。</p>  <p>来自日本国际基督教大学、横浜市立大学、立教大学の20名日本大学生和成都大学、重庆交通大学、重庆医科大学の20名中国大学生参加线上交流。两国青年围绕“我的择业观”在线探讨，并分小组展开深入交流。在职业选择上，两国青年专业不同、文化各异，各自持有不同的观点，大家各抒己见，畅谈人生理想与规划。活动结束后，两国青年意犹未尽，纷纷留下联系方式，约定日后线下相聚，畅叙友谊。成都大学的同学们纷纷表示，此次交流进一步加深了两国青年的了解，希望能有更多机会参与此类交流活动，拓宽视野，增进友谊。</p>  <p>全国对外友协东亚工作部、四川省对外友协和重庆市对外友协有关部门负责同志出席活动。</p>	<p>重庆对外友协组织代表参加2021第二次中日大学生线上交流会</p> <p>日期：2021-11-01 来源：重庆外事</p> <p>为切实做好疫情期间中日两国青年交流工作，中日友好协会于2021年10月28日（星期四）与日本日中友好会馆共同举办以“我的择业观”为主题的日大学生线上交流会。重庆对外友协组织重庆医科大学、重庆交通大学优秀学生代表参会，与日本青年进行在线交流、分享学习、就业等方面的心得，加强中日青年一代的相互了解与文化互鉴。</p>  <p>交流会由日中友好协会综合交流部部长助理樋口文主持，邀请日本立教大学副教授渡部千慧作指导教师。来自日本国际基督教大学、横浜市立大学、立教大学の20名日本学生代表与重庆医科大学、重庆交通大学、成都大学的20名中国学生代表分为5个小组，使用英语围绕“我的择业观”开展友好交流与讨论，最后各组组长一名代表用母语进行发言。两国大学生们畅所欲言，用青年人独特的视角和活跃的思维，分享感悟、交流思想。</p>
<p>2021年11月1日（四川省人民对外友好协会ホームページ）</p> <p>○職業選択において、両国青年は専門も文化も違い、それぞれが異なる観点を持っており、皆それぞれの思いと理想の人生や将来の展望を語り合った。終了後は、連絡先を交換していつかオフラインで会おうと約束していた。</p>	<p>2021年11月1日（重慶市人民政府外事弁公室ホームページ）</p> <p>○両国の大学生は青年特有の視点と活発な思考で感じたことを述べあい、考えを共有した。</p>

中日大学生线上交流“我的择业观”

文：高林节 马琳越 来源：国际合作与交流处

10月28日下午，中日大学生线上交流会在成都大学综合楼D105教室举行。该活动由四川省人民对外友好协会主办，成都大学国际合作与交流处和共青团成都大学委员会承办。本次交流会在线进行，主题为“我的择业观”。交流会成员包括来自国际基督教大学、横浜市立大学、立教大学的共20名日本大学生，以及来自成都大学、重庆交通大学、重庆医科大学的20名中国大学生。



交流会气氛热烈，中日高校学子轮流发言。大家畅谈不同国情国家经济结构、人口、职业就业政策、高校职业教育等方面的现状，以及不同国情不同视野下大学生对职业选择的看法。交流会上，我校10位学子积极思考、自信大方，充分展示了中国高校学子积极向上的青春风采。

学生感想：

通过本次交流会，我了解到不同文化背景下中日大学生择业就业不同的观点与看法，也对自己未来择业有了不同视角的思考与全新的审视。

——师范学院2020级（研）学前教育专业袁颖心

通过本次交流会，我不仅了解到了两国大学生对于个人未来的择业发展是有如何不同的认识，而且也在交流中也了解到了日本目前大学生就业现状，通过本次交流会更加明确了自己未来的发展方向和目标。

——商学院2018级国际经济与贸易专业韩梓昆

本次线上交流会对我来说是一次全新的体验，我感受到了不同文化背景下大学生职业选择的差异，也看到了当代大学生对各种问题的认识具有更多的相似性和相通性。

我校学生参加2021第二次中日大学生线上交流会

发布时间：2021-11-03 来源：外事处 点击量：[37]

为做好疫情期间中日两国青年交流工作，我国中日友好协会于10月28日与日本中日友好会馆共同举办以“我的择业观”为主题的中日大学生线上交流会。我校组织优秀学生代表5人参会，与日本青年进行在线交流，分享学习、就业等方面的心得体会，加强中日青年一代的相互了解与文化互通。



来自重庆医科大学、重庆交通大学及成都大学的20名中国学生代表，与日本国际基督教大学、横浜市立大学、立教大学的20名日本学生代表分为5个小组，使用英语围绕主题“我的择业观”开展热烈友好的交流与讨论。两国大学生畅所欲言，用青年人独特的视角和活跃的思维，分享感悟、交流思想。最后各组派一名代表用母语进行发表。我校附属口腔医学院的李阳杰同学、张沁柔同学代表本小组发言。

会后，我校参会学生均表示，通过在线交流加深了对彼此国家青年人以及文化、教育等领域的了解，双方建立联系、加深友谊，期待疫情结束之后共同开展线下面对面交流。

中日友好协会政治交流部、重庆市对外友协办公室、四川省对外友协国际交流与合作处有关负责人出席活动。

2021年11月1日（成都大学ホームページ）
○交流会は活気があり、中日の大学生が次々に発言した。異なる国情、経済構造、人口、政策、大学の職業教育などの現状と、それぞれの国情と視野の下、仕事選びに関する考えを話し合った。

2021年11月3日（重慶医科大学ホームページ）
○終了後、学生は「交流を通して、互いの国の若者や、文化、教育等について理解を深めたほか、連絡先を交換して友情を深めた。コロナ禍が終息したら会って交流したい」と語った。

10月28日 17:04 来自 iPhone

#JENESYS2020第2次中日大学生线上交流#很开心这次能够交流😊😊😊



转发

2



#JENESYS2020

开心到语无伦次！兴奋到原地起飞！
外事办公室真的好漂亮，和法式美女火火还有英伦绅士Isaac一起咔嚓咔嚓，一开始拍照就彻底停不下来了😊
思想碰撞+文化交流，说说笑笑中度过了一个美好的下午，已经开始怀念了😊
很高兴能成为Group 2的一员，在这里真的结识了好多好朋友们~
腼腆妹妹文乃，东京迪士尼常驻选手，三丽鸥里最喜欢布丁狗，约好了一起玩遍所有乐园，要从千葉一路吃到横浜，从重庆吃到北京😊
上次没见到的实玖这次终于见到了！是可靠的大姐姐！英语发音好好听，永远清醒且独立，酷😊
被同一会场的女孩子们不停地夸赞帅气的崇汰，果然性格上也是个很帅气的人呢！虽然话比较少，但字字精辟句句在理，祝服装品牌越来越好~😊
还有一见如故、一日不见如隔三秋的小瀨子！我们要保持住这个聊天和视频的频率！自由、洒脱、可爱、有趣，你适合一

切美好的形容词。一定一定要想办法面对面见你一次😊（这就开始为你搜罗中国好吃的素食）
最后还有辛勤园丁秦姐、拒绝律所法院996第一人的王哥和准备像鲁迅一样弃医从文的赵兄，川渝一家亲绝不冷群！太开心了！以至于现在回想起来还是很开心！
閉じる



中国·重庆市·重庆市人民政府外事侨务办公室

3日前

2021年10月28日（微博）
○今回交流できて楽しかった。

2021年10月28日（微信）
○思想の衝突+文化交流は、話したり笑ったりして素敵な午後を過ごせました。本当にたくさんのいい友達ことができました。日本の大学生が、いつか日本中のテーマパークを案内すると約束してくれました。とっても楽しかったです。

<p>10月28日 22:40 来自 iPad air 今天妥妥的是一种生图直出的感觉咯~ 复制一下pyq的文案: The first time参加JENESYS中日大学生交流活动, 真实的开心感受到了文化的碰撞, 和交到国际新朋友的激动! 和我们组的朋友聊天真的真的都超级愉快~ 必须也要感谢咱同行的夸夸组, 就是说下次还一起喔☺ nice meeting all of u~ hope to 展开c</p> 	<p>10月30日 01:15 来自 iPhone客户端 #JENESYS2020第2次中日大学生线上交流# 很高兴与日本同学一起探讨就业问题🙏 不同观点, 不同思想的碰撞拉近了两国同学之间的关系, 也让我们更加了解对方🙏 2重庆 重庆市 政府外事侨务办公室</p>  <p>转发 评论</p>
<p>2021年10月28日(微博) ○初めて参加したけれど、楽しかった。文化の衝突、海外の友達からの刺激などを感じた。グループメンバーとのおしゃべりはとっても楽しかった。</p>	<p>2021年10月30日(微博) ○日本の大学生と就職問題をディスカッションできてうれしかった。異なる見方や考えをぶつけ合うことで両国の大学生の関係はぐっと近くなった。</p>
<p>東京など 大学生が理想の働き方を討論</p>  <p>日中友好会館 中日友好協会 の共催による中日大学生オンライン交流が昨年10月28日に行われ、両国から40人の大学生が参加した。学生たちは「私の理想の働き方」をテーマに70分のディスカッションを展開、仕事と生活どちらを重視するかについて各自の考えを語り合った。 両国に共通したのが、「仕事で社会貢献がしたい」という願いと、福利厚生に注目しているという点だ。中国のIT企業によく見られる「996」(週の勤務日数6日、勤務時間は朝9時から夜9時まで)という勤務体制や、日本の職場における女性の昇進なども話題となった。両国の大学生は職業選択と価値観、人生観などについて互いの考えを語り、相互理解と友好を促進した。</p>	
<p>2022年1月(人民中国・雑誌) ○両国に共通したのが「仕事で社会貢献したい」という願いと、福利厚生に注目しているという点だ。中国のIT企業によく見られる「996」という勤務体制や、日本の職場における女性の昇進なども話題となった。</p>	

実施団体名：公益財団法人日中友好会館